

社会教育演習の詳細について

テーマ	講師	内容
社会教育計画とまちづくり	三重大学 非常勤講師／ みえ生涯学習ネットワーク 委員長 長島 洋	本演習では、学習の成果を生かした「知の循環型社会」の構築や、社会教育法一部改正に伴う地域住民その他の関係者が学校と協働して行う地域学校協働活動の機会を提供する事業の実施等、社会教育主事の主要な職務の一つである「社会教育事業計画の策定」の視点と手順について、演習を通して総合的な理解を図るとともに、学習プログラム（個別事業計画）を計画・実施していくための基本的な考え方と基礎的力量的の習得を目標とする。特に、コロナ社会における有効な学習プログラムの作成と本来であればグループでかんがえるところを個人のプログラムの作成を完成し、学習課題の設定、プログラム作成、予算、評価とつなげていく。
地域理解のための身近な自然観察	三重大学教育学部 教授 平山 大輔	私たちの住む地域社会をよりよく理解するために大事なことは何だろうか。人や文化や産業を知ることだろうか。それらはもちろん大事なことである。しかし、もっとマクロな目をもって、私たちを包含するこの地域の「自然」について知ること、とても大切なアプローチである。この一連の演習では、地域理解のための身近な自然観察をテーマとし、自然観察の技法を学ぶとともに、地域の自然の成り立ちを観察することで理解し、自然と人の関わり等を考えることを目的とする。

テーマ	講師	内容
スポーツとまちづくり	三重大学教育学部 准教授 大隈 節子 ほか	本演習では、「スポーツとまちづくり」をテーマに地域におけるスポーツのあり方について考えていく。スポーツへのかかわりは、これまでの「する」スポーツや「みる」スポーツに加えて、「ささえる」スポーツ、さらにはコミュニケーションツールとしてなど、その意義や目的も多様化している。このような中で、スポーツが有する役割や機能は、個人の豊かな暮らしに加え、まちづくりや地域の活性化の手段としても大いに注目されるようになってきた。ここでは、「まちづくり」や「生涯スポーツ」、あるいはそれらに関連したキーワードをもとに関心のある身近なテーマを設定し、グループ毎の演習形式で課題に取り組んでいく。
即興演劇で学ぶファシリテーション	三重大学大学院教育学研究科 准教授 園部 友里恵	即興演劇とは、台本や打ち合わせなしに共演者や観客とのコミュニケーションを通して物語を紡いでいく演劇のことである。演劇未経験者も容易に取り組める「ゲーム」形式でその実践方法論が構築されており、近年、学習方法の一つとして注目されている。本班別演習では、即興演劇のゲームを実際に体験するとともに、参加者自らがゲームのファシリテーターを担う試みを通して、多様な価値観を有する学習者の言動に即興的に対応できる力や、多様な学習者間をつなぎ協働的な学習を促進できる力を高めていく。